

特集

「ノーリフト」で ケアの質向上と 腰痛予防を両立させる

オーストラリア発のトランスファー技術「ノーリフト」。本人の自立度を考慮した介助と福祉用具を活用することで、看護・介護の職業病といわれていた腰痛を防ぐとともに、褥瘡・拘縮を予防し、利用者満足度も高いなど、ケアする人・される人両方にメリットがあるとして、近年日本でも注目を集めています。本特集では、2015年4月に日本ノーリフト協会より発表される「日本版」の基本技術を紹介し、すでに導入している現場の実践を通して在宅での可能性を示します。

ケアの質向上と腰痛予防を叶える技術 「ノーリフト日本版」●保田淳子

ノーリフトの技術を使ったケア方法●保田淳子

【実践報告】

- ① 在宅にノーリフトを導入して●加藤希、佐藤直子
- ② ノーリフトを使った訪問看護とまちづくり●福田裕子
- ③ スタッフ教育の実践●水本桂子

病院への導入で在宅生活がどう変わるか●栄健一郎

在宅で活用できる福祉用具●鈴木寿郎、西山輝之

INTERVIEW ケアする人々

國森康弘さん(写真家、ジャーナリスト)

× 富岡里江さん(訪問看護ステーションはーと、訪問看護認定看護師)

編集後記

あまりに奥の深い「意思決定支援」。つまり、それは何をすることなのか？ 本特集は、そんな素朴な問いから企画しました。巻頭を含め、宝物のような原稿が集まったと思う。それぞれディテールは違うし、耳に痛い指摘もあります。でも、共通してすべてが指し示すのは、「エンパワメント」と「人間性を回復すること、保つこと」。「人間性って？」と問われると困るのですが、何を選ぶにせよ、最後までその人が「目の光」を失わずにいられるほうへと共に歩むことが意思決定支援なのだと思います。だとすれば、「訪問看護」のすべては意思決定支援なのかもしれません。そんなすごい仕事をしている看護師さんたちにこそ目の輝きを失わないでほしい。それが、私の数少ない明確な意思です。その光は、私の目にも光を灯してくれています。…杉本

京都のACP看護研究会(p.108)にお邪魔してきました。「もしものとき」について話すのは、とても怖いもの。とくに医療者からそのような話を切り出されたらご本人やご家族は動揺してあたりまえ、だから丁寧に寄り添うことが欠かせない、ということをおけるACPの第一人者である木澤義之先生が話されていました。予後予測や今後の選択肢など、医療者から伝えられる重要なことはとても多いですが、ご自分の人生をふりかえって、その締めくくりを考えるプロセスの主人公は、やはりご本人であり、ご家族です。その伴走者となるみなさんの実践の深さに感動しつつ、自分自身もまた一市民として、自分や家族の「もしものとき」について考えたり話したりする時間をもっとたなければと思いました。…栗原

訪問看護と介護 第20巻 第2号(通巻224号) 2015年2月15日発行(毎月1回15日発行)

発行：株式会社医学書院 代表者：金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2015, Printed in Japan

1部定価：本体1,300円＋税 年間購読料(税抜、送料弊社負担、年間12冊)：12,600円(冊子版)／

15,600円(冊子＋電子版/個人)／17,520円(冊子＋電子版/共有)／12,600円(電子版/個人)／

14,520円(電子版/共有)

販売部：☎03-3817-5659 社内案内：☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当：杉本・栗原・早田

✉ houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

ウェブマガジン「かんかん!」 <http://www.igs-kankan.com>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構

(☎03-3513-6969, FAX03-3513-6979, ✉ info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

※「訪問看護と介護」は、株式会社医学書院の登録商標です。